

シグマ委員会核データ専門部会  
融合炉核データ W.G. サフグループ会合議事録

日時 昭和51年10月22日(金) 13:30~17:30

場所 東海研 研2棟304号室

出席者 田中, 西村, 中島, 菰田, 浅見(哲)(原研)

議事

1. SPLINTによるプロット(COM)の検討

preliminary plotを回覧し, 問題点の検討を行った。

その結果, plotするエネルギー範囲は0~20 MeV, 6r以外はすべて linear-linear, 6rは log-log でプロットすることを再確認した。また, プロットするデータはすべて生データとし, 今回の作業では角度分布まで行いが, 2次粒子及びガンマ線のスペクトルは後廻しにすることとした。

2. 今後の作業の検討

preliminary plotにもとづいて各項目毎に次のような作業を原研のメンバーが中心になって行うこととした。

- 断面積のスケールを決める。
- CINDAとの対応を check する。
- 不適当なデータを除く。
- 作業中に気付いたことはメモしておく。

また, Be, C等のNESTORに入っていないデータをCCDNへ要求する(原子核データ室)こととした。角度分布のデータの扱いについて議論が行われ, とりあえず1 MeV stepでplotしてみる(フィルムのみ)こととした。

なお, 当面の作業分担を次のように決めた。

$^{27}\text{Al}$  中 島  
V 田 中  
O, F 西 村  
Li 孤 田

次回は、すべての preliminary plot 作業が終わった時点で行うことにする。

以 上